

令和5年度  
ちゅうるい学園

活動報告

令和6年2月8日

# かぼちゃプロジェクトの取組 ～忠類小学校～



子どもたちが育てたカボチャを円山動物園のゾウに食べてもらっているという繋がりから、株式会社アクア様、教育委員会の添田さんの協力を得て、ナウマンゾウのぬいぐるみづくりを目指すことになりました。

今年度は全校児童でアイデアを出し合い、忠類中3年生の協力を得て、ぬいぐるみに付ける下げ札を作成しました。

10月には、円山動物園とオンラインで繋いだ授業を行ったり、修学旅行で円山動物園の飼育員さんに「ゆり根」を届けたりする取組をおこないました。

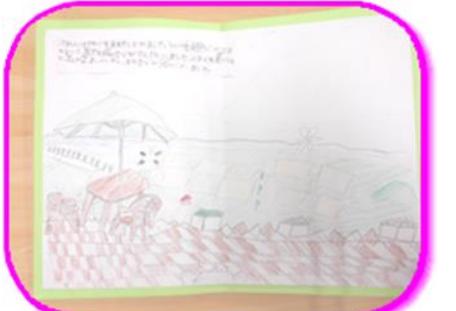
12月には、完成した下げ札の完成お披露目会を体育館で行いました。



地域の協力  
による活動  
(ふるさと学習)

# シーニックカフェ学習

# ～忠類小学校～



シーニックカフェの歴史や地域の方々の思いなどを聞く授業から始まり、実際にシーニックカフェに行き、体験させていただきました。

その後、自分たちができることは何か、忠類の素晴らしさをどのように伝えとよいか、ということを中心に考え実践する活動に取り組みました。

各学年で考え、実践したのは、1年生～PR動画、2年生～虫図鑑、3年生～絵本、4年生～PRポスター、5年生～新聞、6年生～キーホルダーです。

地域の協力  
による活動  
(ふるさと学習)

# ちゅうるい PR活動 in JR札幌駅 (修学旅行)

- 3年生は修学旅行で、JR札幌駅の構内で「ちゅうるいのPR活動」を行いました。
- JA忠類と地域振興課の全面協力のもと実現したこの活動は、駅構内を行き交う人にゆり根を手渡ししながら、しっかりPRすることができました。

ゆり根を受け取った方々から、ちゅうるいへの応援メッセージをいただきました。



地域の協力  
による活動  
(ふるさと学習)

# 11/30 深掘り学習（事業所訪問）

○2年生では、これまでの学習を活かして地域の活性化に関わる課題を個々設定し、探究していきます。地域の事業所を訪問し、助言をいただく『深掘り学習』を行いました。

- ・ 大坂林業
- ・ JA忠類
- ・ 幕別町役場
- ・ 道の駅ちゅうるい
- ・ ビストロブラウン
- ・ 忠類総合支所
- ・ 食堂このみ
- ・ 大坂農場
- ※お世話になった事業所



# 12/4 『地域活性化案』発表会

○飯田町長・菅野教育長をはじめ、学校運営協議会やこれまでの学習でお世話になった事業所の方々など大勢の前で、3年間の「ふるさと学習」の成果を発表。

○個々に活性化案をまとめる探究活動を通して、新しい価値や多様な見方を身につけることができました。



地域の協力  
による活動  
(ふるさと学習)

# 12/8 ちゅうるい学園 教育実践発表会での交流

会場：忠類小

## 研究授業と事後研 小中合同による事前研修

2・3年生と6年生の算数科の授業を行い、その後、全体会、分科会を行いました。小中学校の先生方が、2つの分科会に分かれて、公開授業の成果や課題について、意見や感想を交流しました。

今回の発表会に向けて、中学校から鎌田教頭、鱒沢先生が、授業づくりに参加しました。

今後も、小中一貫教育の推進に向け、連携・協力しながら取り組んでいきます。



小中一貫  
の  
取組

# 12/20 ちゅうるい学園 小中合同研修会



## ロイノート研修会

12月20日（水）に、忠類小学校でタブレット端末の有効活用について、「ロイノート」という思考ツールのソフトを学習に生かす方法について学びました。

今後、ますます一人1台端末の有効活用が求められる中、教員が“何ができるか”をしっかりと学び、どう活用していくかを考え、実践していくことが重要となります。

その方法を、小中9年間を見通し、統一感をもった取組の大切さを実感した研修となりました。



# 1/26 小学生 1 日体験入学&保護者説明会

- 10月に引き続き、2回目の1日体験入学。6年生が中学校の校舎で1日を過ごしました。
- 今回は社会・英語・理科の授業を体験。
- 中学校が生徒会活動や制服、部活動について小学生に直接説明会も行いました。



小中一貫  
の  
取組

# 乗入授業

○延べ50回の授業参観（中学校 → 小学校）

⇒児童が中学校の先生の顔を覚え、先生同士の距離も縮まる

○研修部が連携して、校内研究授業を互いに参観し合う。（計6回）

○1/22 忠類中 堀井教諭（体育科）によるスケート授業サポート



小中一貫  
の  
取組

# 1/30 第3回 ちゅうるい学園 学校運営協議会

CSの取組

【議題】 ・ 学園活動報告（後期）

- ・ 第2回学園評価アンケート結果の検証と諸課題の交流
- ・ 次年度の学園運営に向けての意見交流（熟議）

【協議内容より...】

- 小中学校ともにふるさと「ちゅうるい」の学びをバージョンアップして良い実践をしている。協議会としても地域とともにある学校に協力していく。
- 学園評価から、取組そのものは地域も理解していると捉えられる。評価結果に一喜一憂せず、子どもたちにとっての学びを進めてほしい。
- 地域教材を活用した地域活性化の探究活動によって、子どもたちが発想した取組が町（自治体）や地域の取組に実際に繋がれば、子どもたちの学びや励みにつながっていく。

令和5年度  
ちゅうるい学園

活動報告

令和6年2月8日